

下丸子×演劇ぷろじぇくと2016

下丸子 [演 劇]

ミニミニふえすた

ワークショップ発表会 + 劇団山の手事情社「mini jam」



[構成・演出]

安田雅弘 (劇団山の手事情社 主宰・演出家)

■ワークショップ発表会

[出演]

演劇体験ワークショップ 参加者

■劇団山の手事情社「mini jam」

[出演]

劇団山の手事情社 劇団員

[スタッフ]

照明：関口裕二 (balance,inc.DESIGN)

衣裳：綾

音響：斉木和洋

宣伝美術：福島 治・阿部 至

日時：2017年1月29日[日] 14:00開演 (13:30開場)

会場：大田区民プラザ [地下1階] 展示室・小ホール

チケット料金 (全席自由) : 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催：公益財団法人大田区文化振興協会

協力：劇団山の手事情社

助成：一般財団法人地域創造

下丸子×演劇ぷろじえくと2016 下丸子[演劇]ミニミニふえすた ワークショップ発表会+劇団山の手事情社「mini jam」

■「下丸子×演劇ぷろじえくと」について

演劇をもっと身近に!

今年度から、大田区文化振興協会と劇団山の手事情社が3年間に渡って取り組む演劇プロジェクトがスタートしました。このプロジェクトは大田区民プラザを拠点として「演劇」を体験し、知識と興味を高め、地域の演劇ファンを増やすことを目的としています。

1年目の今年は初心者向けの演劇ワークショップを中心に行いました。2年目には教養講座と鑑賞公演を加え、3年目は区民劇の実施に向けて盛り上げていきます。

《観る。学ぶ。参加する。》これらの活動をとおして、「演劇」の持つ創造性と想像性を一人でも多くの方に感じてもらい、人生の楽しみに加えていただきたいと思います。

日時:2017年1月29日[日]
14:00 開演(13:30 開場)

チケット料金(全席自由):1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

◎チケット取り扱い(2016年12月1日[木]10:00 発売開始)
(オンライン)http://www.ota-bunka.or.jp/(24時間対応・公演前日20:00まで)
(チケット専用電話)03-3750-1555(10:00-20:00)
◎下記の電話・窓口でもご購入いただけます。(10:00-20:00)
(大田区民プラザ)03-3750-1611
(大田区民ホール・アプリコ)03-5744-1600
(大田文化の森)03-3772-0700

会場:大田区民プラザ[地下1階]展示室・小ホール

〒146-0092 東京都大田区下丸子 3-1-3 TEL 03-3750-1611

東急多摩川線「下丸子駅」駅前/東急池上線「千鳥町駅」徒歩約7分

一般の駐車場はありません



■「下丸子[演劇]ミニミニふえすた」縁起/安田雅弘

1989年というから、平成元年のことになる。大田区民プラザで第1回「下丸子[演劇]ふえすた」が幕を開けた。その後6回、計7年間に渡ってその演劇祭は続く。山の手事情社も、1993年と翌年の2回参加させていただいていた。公務員とは思えない演劇理解と観劇経験豊富なスタッフの方々に声をかけていただいた時の喜びは今でもよくおぼえている。並居る先輩劇団に挟まれて、それでもあのホールに負けまいと精一杯舞台をつとめた。そう、当時私は俳優だった。そしてそのころ大田区と現代演劇は相思相愛だったのである。

20年たった今、劇団は大田区に本拠地を構え、私はもう俳優ではない。しかし大田区と演劇の蜜月時代を私たちに再現したいと考えている。今回の「下丸子[演劇]ミニミニふえすた」という題名は伝説の演劇祭へのオマージュである。中味は2本立て。11月から始まった演劇愛あふれるメンバーによるワークショップの発表会と、普段縁のない方には思いもよらない当劇団の演劇訓練の様子をご覧ください。どうぞと思っている。

■[劇団山の手事情社 プロフィール]

1984年、早稲田大学演劇研究会を母体に結成。以来、一貫して「演劇にしかできないこと」を追求する、実験的な作劇を展開。1993年・1994年には「下丸子[演劇]ふえすた」に参加し、現代演劇を代表する舞台芸術集団として発展。1997年より現代人を制約された動きで表現する《四畳半》という演技様式に取り組み、近年海外での公演も多い。2013年に専用の稽古場及び事務所を大田区に移転。地域との連携も積極的に実施。代表作は、「タイタス・アンドロニカス」「オイディプス王」「道成寺」「女殺油地獄」など。

■[安田雅弘 プロフィール]

演出家。劇団山の手事情社主宰。東京生まれ。大学在学中に劇団を結成。

以来ほとんどの作品を構成・演出。

《四畳半》と呼ばれる演技・演出スタイルで現代演劇を様式化する作業は国内だけでなく、海外での評価も高まり、2012年にはルーマニアの国立劇場より委嘱を受け、演出。

また、《演劇的教養》の敷衍にも力を注いでおり、多数の委嘱公演の演出、全国各地さまざまなワークショップの講師、全国高等学校演劇大会・同地方大会などコンクールの審査員をつとめている。2013年ルーマニアのシビウ国際演劇祭より「特別功労賞」を受賞。



「下丸子×演劇ぷろじえくと」
Facebook[QRコード]